

# JIS

## 銅製錬用銅スクラップ—サンプリング， 試料調製及び水分決定方法

JIS M 8082 : 1999

(2008 確認)

平成 11 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

## まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS M 8082 : 1976は改正され、この規格に置き換えられる。

この規格には、次の附属書がある。

附属書(規定) 標準見本の作製及び管理方法

---

主 務 大 臣：通商産業大臣      制定：昭和 48. 3. 1      改正：平成 11. 3. 20

官 報 公 示：平成 11. 3. 23

原案作成協力者：財団法人 日本科学技術連盟，日本鋳業協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 非鉄金属部会（部会長 神尾 彰彦）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料機械規格課（☎ 100-8921 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

# 銅製錬用銅スクラップ—サンプリング， M 8082 : 1999 試料調製及び水分決定方法

## Copper scraps for smelting—Methods for sampling, sample preparation and determination of moisture content

1. **適用範囲** この規格は、銅製錬用銅スクラップ<sup>(1)</sup>のロットについて、その銅分及び水分の平均値(以下平均品位という。)を決定するための方法について規定する。

- a) 試料を採取する方法
- b) 水分の試験試料及び成分の試験試料を調製する方法
- c) 水分測定方法
- d) 水分決定方法
- e) 銅含有率決定方法

注<sup>(1)</sup> この規格の銅製錬用銅スクラップとは、故銅、銅さい及び沈殿銅をいう。故銅及び銅さいの分類基準を付表1及び付表2に示す。

2. **引用規格** この規格の引用規格を、次に示す。

- JIS H 1051 銅及び銅合金中の銅定量方法
- JIS K 8866 四ほう酸ナトリウム十水和物(試薬)
- JIS M 8100 粉塊混合物—サンプリング方法通則
- JIS M 8121 鉱石中の銅定量方法
- JIS M 8125 粗銅地金中の銅定量方法
- JIS Z 8801 試験用ふるい

3. **定義** この規格に用いる用語の定義は、JIS M 8100によるほか、次による。

- a) **ロット** 平均品位を決定するために受渡当事者間で取り決めた質量の銅製錬用銅スクラップ。1ロットを構成する銅製錬用銅スクラップの質量をロットの大きさという。
- b) **仕分** 粉塊混合物の形態となっていない<sup>(2)</sup>ロット、大口試料又は小口試料について、その全試料を品質、性状、色、光沢、形態などの外観によって分類し、分類した各試料内ができるだけ均一になり、各試料間の差ができるだけ大きくなるように、数種類の試料に分けること。仕分けされた各試料を仕分試料、その質量の全量に対する比率を仕分質量比という。目視によってロットを仕分けし、仕分けした各層からインクリメントを採取したときは、インクリメントを各層ごとにまとめたものを仕分試料という。
- c) **仕分縮分試料** 目視による判断又はランダムな方法によって仕分試料から採取した代表試料。
- d) **融解試料** 各仕分試料又は仕分縮分試料から採取した試料で、融解に用いる試料。
- e) **マット** 融解試料をマット融解法によって、融解して生成したもの。
- f) **メタル** 融解試料をメタル融解法によって、融解して生成した金属分。
- g) **からみ** 融解試料をメタル融解法によって、融解して生成したからみ分。